

<基本情報技術者試験 講評>

【午前】

テクノロジ系の約80%は、定番又は重要キーワードとして理解が必要な部分の出題であり、しっかり学習すれば問題なく得点できたと思います。なお、問6のハッシュ表検索におけるハッシュ値の分布はより深い学習が必要であり、問23の回路における点灯信号の問題では、簡単な回路を読み解くスキルが必要です。ハードウェア、マルチメディア、制御などの分野は出題は少ないものの確実に
出題されており、試験対策では漏れなく学習したい分野です。

マネジメント系は、定番の出題が大半ですが、システム監査では独立性、可用性、内部統制といった多少深く学習しないと解答できない問題もあり、学習を用語理解に留めると解答に苦勞したかもしれません。一方、ストラテジ系は、必須のキーワードを理解していれば80%程度は解ける内容だと推測します。今回の試験を分析すると、下記のようになります。

分野	分類	2010/04	
		出題数	全体比率
テクノロジ系	基礎理論	8	10%
	コンピュータシステム	18	23%
	技術要素	18	23%
	開発技術	6	8%
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	3	4%
	サービスマネジメント	7	9%
ストラテジ系	システム戦略	7	9%
	経営戦略	7	9%
	企業と法務	6	8%

午前全体をとおして、過去問題を十分に解いて、重要と言われるキーワードをしっかりと理解すれば合格圏に入る内容だと推測します。時間難易度、内容難易度は共に前回と「同等レベル」と分析します。

【午後】

午後の出題は次の内容でした。

- 問1 キャッシュメモリ
- 問2 コンパイラの処理内容
- 問3 関係データベース
- 問4 動画ストリーミングサーバの配置計画
- 問5 配達サービス管理システム
- 問6 プロジェクトにおける品質管理
- 問7 事業の分析
- 問8 マージソート(必須)

- 問9 英文テキストの整形出力(C)
- 問10 セキュリティルームの入退出管理とログ解析(COBOL)
- 問11 リバーシゲームの支援(Java)
- 問12 浮動小数点の加算(アセンブラ)
- 問13 喫茶店の料金計算(表計算)

[問1から問7で5問選択]

問1は擬似言語が登場して難しく映りますが、キャッシュメモリは試験の重要テーマで、仕組みをしっかりと学習していれば解ける問題です。

問2はコンパイラの構文木、構文規則、逆ポーランド記法とスタックの関係など用語だけでなく具体的な流れを理解していれば難しい問題ではありません。

問3から問5の各技術要素問題は、文章読解の訓練と過去問題で傾向の対策をしていけば難易度は高くありません。問3のSQL副問合せや問5の整列と併合は定番の出題で、問4の待ち行列理論も本文をよく読めば解ける問題だと思います。

問6はバグ管理図をもとにした品質管理の問題ですが、バグ管理図の特性を理解したうえで、問題文をよく読めば解ける問題であり、問7はSWOT分析の分析方法を理解していれば解ける問題だと感じます。

[問8 必須問題]

定番とも言える整列アルゴリズムで、かつ重要要素のクイックソート、ヒープソート、マージソートのうちのマージソートの出題です。試験対策を十分行った方にとっては、想定通りの出題だと思います。

[問9から問13で1問選択]

C(問9)は文字列操作で難易度が高い問題です。文字列操作はCでは比較的によく使用する操作ですが、Cに慣れていない方には難しく感じたと思います。COBOL(問10)は問題から各種条件を理解できれば簡単に解答できる問題で、Java(問11)は、プログラムが追いやすく、空欄に関連する問題文を読めば簡単に解答できる問題です。アセンブラ(問12)は、浮動小数点の内部表現を理解していれば、問題文やプログラムを容易に理解できたのではないかと思います。

表計算(問13)は、関数自体は前回とほぼ同等レベルですが、本文を正しく読解することが重要で、読解できれば解ける問題です。

午後全体をとおして、過去問題を利用して読解力を養い、定番と言える分野を確実に理解していれば、満足のいく得点を取れたと思います。午後対策が不十分だと文書読解で時間を浪費し、時間の余裕がない状態で解答を迫られたのではないかと思います。問1や問9など難易度がやや高い問題もありますが、時間難易度、内容難易度共に前回と「同等レベル」と分析します。